



2月に入って太陽が出る日が多くなって来ているように感じます。

そうした日には昼休みなどに思わず外に出て散歩をしたりします。

ずっとむかし、初めて日本からスペインへ行き、サマーコースに参加した時、北欧やドイツの学生たちが授業のあとや週末の度に半裸になって、長々と日光浴をしていました。

夏のイベリア半島の日射しはスペイン人自身「el sol que pega (灼熱の太陽)」と言う程に強烈なので、私はその光景を見てとても奇異に感じたものでした。

ですが、今は彼らの気持ちが理解できるようになりました。

今月初めは日本の外務省のプログラムで、和歌山県の県立高校の生徒たちへ Zoom で一時間ほどレクチャーをしました。和歌山県出身の若手大使館員も参加しました。

紀州(今の和歌山県)出身の日本外交史上における偉人である陸奥宗光(むつ むねみつ)から始めて、前半はフィンランド、後半は日本大使館の業務について話をしました。

この国については、日本ではムーミン、サンタクロースなどのイメージが強いですが、国防に力を入れている国でもあることを説明しました。

大使館の業務については、フィンランド政府との関係だけではなく一般の人たちとの交流を大切に、また在留邦人や進出日本企業へのお手伝いもしていることを伝えました。

最後に参考としてエーミル・シッランパー「若く逝きしもの」やNHKドラマ「ハルカの光」などを紹介しました。

久しぶりのオンライン講義でした。高校生たちが少しでも関心を持ってくれたならば嬉

しいのですが、私自身にとってもアタマを整理する良い機会になりました。

今週はフィンランドの新聞社のインタビューを受けました。記者さんの質問は難問ばかりで答えるのに四苦八苦しました。「よくフィンランド人と日本人は似ていると言われますが、その理由は何だと考えますか？」という質問に、皆さんならどう答えるでしょうか。インタビューの様子は、そのうち新聞に掲載されると思いますので、ご覧になって下さい。

そして、昨日は「日フィン友好年2022」のクロージング・セレモニーを開催。「友情写真コンテスト/写真展」に始まり、昨年初めから続いた一連の行事を無事に締めくくりました。行事に来てくれた人も、来るチャンスがなかった人も、フィンランドのみなさん、応援をどうも有難うございました！

2023年2月

駐フィンランド大使 藤村和広

○日本の外務省の中にある陸奥宗光の銅像。

明治維新前に陸奥は坂本龍馬の下で「海援隊」の一員として活躍しましたが、出身は土佐ではなく紀州ですね。

